

# 105-258

## 問題文

候補となるそれぞれの薬物の作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ドパミンD<sub>2</sub> 受容体遮断
2. セロトニン5-HT<sub>3</sub> 受容体遮断
3. オピオイドμ受容体刺激
4. ロイコトリエンB<sub>4</sub> 産生阻害
5. アセチルコリンM<sub>3</sub> 受容体遮断

---

## 解答

問258 : 2, 5問259 : 2, 3

## 解説

### 問258

問 259 と合わせて解説します。

### 問259

問 258 について

選択肢 1 ですが

ドンペリドン（ナウゼリン）は、吐き気止めです。不適切と考えられます。

選択肢 2 は妥当です。

ロペラミド（ロペミン）は、止瀉薬です。オピオイド μ 受容体を刺激することにより、腸運動を抑制します。

選択肢 3 ですが

メサラジンは、5-アミノサリチル酸です。抗炎症薬です。不適切と考えられます。

選択肢 4 ですが

チキジウム臭化物カプセルは、抗コリン薬です。既に処方されているメベンゾラートが、抗コリン作用により、消化管れん縮を抑制する薬です。作用機序が重複になるため、適切ではないと考えられます。

選択肢 5 は妥当です。

ラモセトロン（イリボー）は、5-HT<sub>3</sub> 受容体遮断 作用を示します。下痢型過敏性腸症候群の症状を改善します。

以上より、問 258 の正解は 2,5 です。

問 259 の正解は 2,3 です。